

看護学科ディプロマポリシー

関心・意欲・態度	知識・理解	技能	思考・判断・表現
DP1 キリスト教の理念に基づく全人的理解を基盤とし、人間の尊厳を重んじ、人権の擁護ができる。	DP2 対象となる人々やその家族、地域の人々の健康状態を把握し、看護を計画的に展開することができる。	DP3 特定の健康問題に対応する基本的な実践ができる。	DP4 チームの目標達成や成長に向けて自己の責任・役割を理解し、メンバーシップを発揮しメンバーと協働することができる。また、チームの目標達成や成長に向けてメンバーの意識を高め、リーダーシップを発揮し集団の成果を上げるためにチームに働きかけることができる。
DP5 国内外における看護の多様化に関心を寄せることができる。	DP6 生涯にわたり自己研鑽し続けることができるように、主体的に学修に取り組む力を身に付けることができる。また、看護研究を通して、得られた研究成果をもとに、看護実践に活用できるとともに、看護研究のプロセスを実施できる。		

看護学科カリキュラムシ	学年	期	CP1	CP2	CP3	CP4	CP5
			キリスト教の理念をもとに人間愛を培い、生命の尊厳に基づいた倫理観と人々の心に共感する豊かな人間性を育てるための科目を配置する。	看護の対象である人々とその家族・地域の最適な健康と生活を支援するための科学的根拠や問題解決力の学びを累積できるように、看護学基礎分野から看護学専門分野・看護学統合分野・保健師選択コースへと、系統的に科目を配置する。	保健・医療・福祉の各分野で連携・協働する看護専門職としての基礎的実践能力を育てるために、講義・演習・実習を体系づけて、充実した臨床教育を行う。	国内外の医療や異文化を理解し、国際的に活動できる基本的姿勢を養うために、教養科目に、第2外国語(英語・韓国語・中国語)、看護基礎分野に、看護医療英語、看護学統合分野に国際看護に関わる科目を配置する。	看護の高度化に対応できる看護専門職として、生涯にわたって学習・研鑽し続ける能力を養うための科目を配置する。
4	後	キリスト教学Ⅳ 看護医療と法規	看護シミュレーション 救急看護・クリティカルケア			看護医療英語Ⅱ	卒業研究
	前		エンドオブライフケア論 リハビリテーション看護 チーム医療論	災害看護学	看護学統合実習 看護管理論Ⅱ		卒業研究 キャリア支援Ⅱ(ディベロップ)
3	後		地域・在宅看護学実習Ⅲ	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ 高齢者看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習			看護研究Ⅲ
	前	キリスト教学Ⅲ	小児看護学方法論 母性看護学方法論 精神看護学方法論 成人看護学方法論演習Ⅰ(急性期) 成人看護学方法論演習Ⅱ(慢性期・終末期) 高齢者看護学方法論演習 小児看護学方法論演習 母性看護学方法論演習 精神看護学方法論演習 地域・在宅看護学方法論ⅠⅡ				看護研究Ⅱ
2	後	キリスト教学Ⅱ 母性看護学概論	公衆衛生看護概論Ⅰ 看護医療情報学 高齢者看護学方法論 小児看護学概論 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学方法論Ⅰ(急性期) 成人看護学方法論Ⅱ(慢性期・終末期) 地域・在宅看護学概論Ⅱ 地域・在宅看護学方法論Ⅱ 医療安全管理論	基礎看護技術Ⅳ	看護管理論Ⅰ		看護研究Ⅰ
	前	キリスト教学Ⅱ	臨床病態治療学Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 女性臨床病態治療学 小児臨床病態治療学 健康教育学 疫学・保健統計Ⅰ 看護過程演習 成人看護学概論 精神看護学概論 家族看護学 地域・在宅看護学方法論演習	フィジカルアセスメント 地域・在宅看護学実習Ⅱ		看護医療英語Ⅰ 国際保健	健康・スポーツ実技Ⅱ
1	後	キリスト教学Ⅰ 公衆衛生学 日本国憲法 哲学	健康と芸術 人体の構造と機能Ⅱ 臨床薬理学 カウンセリング論 病理学総論 生物学 臨床病態治療学Ⅰ 看護倫理 高齢者看護学概論 地域・在宅看護学方法論Ⅰ	基礎看護技術Ⅲ		ジェンダーからみる社会 英語Ⅱ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅱ	キャリアデザインセミナー アプリケーション演習 健康・スポーツ実技Ⅰ
	前	キリスト教学Ⅰ シチズンシップ 現代社会と法律	人体の構造と機能Ⅰ 心理学 栄養代謝学 微生物・感染症学 地域・在宅看護学実習Ⅰ 社会福祉学 看護学概論 地域・在宅看護学概論ⅠⅡ	看護コミュニケーション論 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ	基礎看護学実習Ⅰ	英語Ⅰ 中国語Ⅰ 韓国語Ⅰ	キャリア支援Ⅰ(スタートアップ) 教養セミナー 長崎の文化 造形と感性 現代社会と教育 現代社会と経済 化学 情報処理基礎、健康・スポーツ論

看護学科アドミッションポリシー

看護専門職として人々の健康と生活を支援するために求められる知識、技術、態度、柔軟な思考力、職務遂行能力を有し、チームで協働しながら自律的に看護できる人間を育成することを目的としています。その目標・目的を理解し、本学での学びをとおして成長し、自律した人間として社会に貢献することを目指すものを、入学者として受け入れます。

1. 人間を敬い、思いやる心を大切にすることができる。
2. 多様な現象に興味を持ち、物事を探求しようとする姿勢がある。
3. 人々の健康及び健康を支えている社会的背景に関心を持っている。
4. 看護を学ぶための基盤として、言語(「国語」「英語」)、自然科学(「数学」「生物」「科学」「物理」)の基礎的な学力をつけておくことが望ましい。

看護学科ディプロマポリシー(保健師コース)

関心・意欲・態度	知識・理解	技能		思考・判断・表現	
DP1 キリスト教の理念に基づく全人的理解を基盤とし、人間の尊厳を重んじ、人権の擁護ができる。	DP2 対象となる人々やその家族、地域の人々の健康状態を把握し、看護を計画的に展開することができる。	DP3 特定の健康問題に対応する基本的な実践ができる。	DP4 チームの目標達成や成長に向けて自己の責任・役割を理解し、メンバーシップを発揮しメンバーと協働することができる。また、チームの目標達成や成長に向けてメンバーの意識を高め、リーダーシップを発揮し集団の成果を上げるためにチームに働きかけることができる。	DP5 国内外における看護の多様化に関心を寄せることができる。	DP6 生涯にわたり自己研鑽し続けることができるように、主体的に学修に取り組む力を身に付けることができる。また、看護研究を通して、得られた研究成果をもとに、看護実践に活用できるとともに、看護研究のプロセスを実施できる。

看護学科 カリキュラム ポリシー	学年		CP1	CP2	CP3	CP4	CP5
	4	後	キリスト教学Ⅳ	看護の対象である人々とその家族・地域の最適な健康と生活を支援するための科学的根拠や問題解決力の学びを集積できるように、看護学基礎分野から看護学専門分野・看護学統合分野・保健師選択コースへと、系統的に科目を配置する。	保健・医療・福祉の各分野で連携・協働する看護専門職としての基礎的実践能力を育てるために、講義・演習・実習を体系づけて、充実した臨床教育を行う。	国内外の医療や異文化を理解し、国際的に活動できる基本的姿勢を養うために、教養科目に、第2外国語(英語・韓国語・中国語)、看護基礎分野に、看護医療英語、看護学統合分野に国際看護に関わる科目を配置する。	看護の高度化に対応できる看護専門職として、生涯にわたって学習・研鑽し続ける能力を養うための科目を配置する。
		前	公衆衛生看護学管理論 公衆衛生看護学活動論Ⅱ (集団・組織の支援) 公衆衛生看護学方法論Ⅲ (技術演習)				
3	後	キリスト教学Ⅲ	保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学方法論Ⅰ(保健指導) 公衆衛生看護学方法論Ⅱ(地域診断)	地域・在宅看護学実習Ⅲ	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ 高齢者看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習	看護研究Ⅲ	
	前	小児看護学方法論 母性看護学方法論 精神看護学方法論 成人看護学方法論 演習Ⅰ(急性期) 成人看護学方法論演習Ⅱ(慢性期・終末期) 高齢者看護学方法論演習 小児看護学方法論演習 母性看護学方法論演習 精神看護学方法論演習 地域・在宅看護学方法論ⅠⅡ	看護研究Ⅱ				

看護学科アドミッションポリシー

看護専門職として人々の健康と生活を支援するために求められる知識、技術、態度、柔軟な思考力、職務遂行能力を有し、チームで協働しながら自律的に看護できる人間を育成することを目的としています。その目標・目的を理解し、本学での学びをとおして成長し、自律した人間として社会に貢献することを目指すものを、入学者として受け入れます。

1. 人間を敬い、思いやる心を大切にすることができる。
2. 多様な現象に興味を持ち、物事を探求しようとする姿勢がある。
3. 人々の健康及び健康を支えている社会的背景に関心を持っている。
4. 看護を学ぶための基盤として、言語(「国語」「英語」)、自然科学(「数学」「生物」「科学」「物理」)の基礎的な学力をつけておくことが望ましい。